

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成24年11月9日

**【四半期会計期間】** 第113期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

**【会社名】** 田岡化学工業株式会社

**【英訳名】** TAOKA CHEMICAL COMPANY, LIMITED

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 津田 重典

**【本店の所在の場所】** 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

**【電話番号】** 06(6394)1221代表

**【事務連絡者氏名】** 事業支援室部長 小和田 晴彦

**【最寄りの連絡場所】** 大阪市淀川区西三国四丁目2番11号

**【電話番号】** 06(6394)1221代表

**【事務連絡者氏名】** 事業支援室部長 小和田 晴彦

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第112期 第2四半期 連結累計期間	第113期 第2四半期 連結累計期間	第112期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	9,028,672	8,309,033	17,305,281
経常利益 (千円)	494,204	146,406	604,259
四半期(当期)純利益 (千円)	320,465	52,884	156,074
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	315,654	37,645	158,726
純資産額 (千円)	6,450,481	6,223,443	6,250,426
総資産額 (千円)	16,922,129	16,460,365	16,575,413
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	22.32	3.68	10.87
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	38.1	37.8	37.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	382,013	759,357	1,186,270
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	626,409	556,137	1,200,614
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	323,073	230,504	98,169
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	406,687	309,499	410,694

回次	第112期 第2四半期 連結会計期間	第113期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.49	5.71

- (注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 3 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および子会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生または前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は83億9百万円となり、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べて7億19百万円の減収となりました。損益面におきましては、営業利益は1億63百万円（前年同四半期比3億54百万円減、68.5%減）、経常利益は1億46百万円（同3億47百万円減、70.4%減）、四半期純利益は52百万円（同2億67百万円減、83.5%減）の計上となりました。

【セグメント別の売上高の概況】

区 分	前年同四半期		当第2四半期 連結累計期間		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密化学品部門	3,779	41.8	2,987	35.9	791	21.0
機能材部門	1,551	17.2	1,548	18.6	2	0.2
機能樹脂部門	899	10.0	1,034	12.5	134	15.0
化成品部門	2,608	28.9	2,573	31.0	35	1.4
化学工業セグメント	8,838	97.9	8,143	98.0	695	7.9
その他	189	2.1	165	2.0	24	12.8
合 計	9,028	100.0	8,309	100.0	719	8.0

#### < 化学工業セグメント >

当セグメントの売上高は、81億43百万円と、前年同四半期と比べ6億95百万円の減収となりました。

#### (精密化学品部門)

樹脂原料の出荷数量が増加したものの、電子材料や医薬中間体および農薬中間体の出荷数量が減少したため、売上高は29億87百万円と、前年同四半期と比べ7億91百万円の減収となりました。

#### (機能材部門)

接着剤は出荷数量が増加したものの、ゴム薬品の出荷数量の減少により、売上高は15億48百万円と、前年同四半期と比べ2百万円の減収となりました。

#### (機能樹脂部門)

加工樹脂・ワニスとも出荷数量が増加したため、売上高は10億34百万円と、前年同四半期と比べ1億34百万円の増収となりました。

(化成品部門)

可塑剤の出荷数量が減少したことや原料価格の下落に伴う販売価格の修正にともない、売上高は25億73百万円と、前年同四半期と比べ35百万円の減収となりました。

<その他>

化学分析受託事業の売上高は、土壌分析業務が減少したため1億65百万円と、前年同四半期と比べ24百万円の減収となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ2.9%減少し、89億14百万円となりました。これは、主として現金及び預金、受取手形及び売掛金ならびにたな卸資産が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べ2.0%増加し、75億46百万円となりました。これは、主として設備の更新・増強や合理化等による設備投資額が、減価償却費等による減少を上回ったことによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産額は164億60百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億15百万円の減少となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ6.9%増加し、82億44百万円となりました。これは、主として短期借入金の減少を、一部の長期借入金の返済期日が1年内に迫ったことによる固定負債からの振替えによる増加が上回ったことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べ23.8%減少し、19億92百万円となりました。これは、主として一部の長期借入金の返済期日が1年内に迫ったことによる流動負債への振替えによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べ0.9%減少し、102億36百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産額は、前連結会計年度末と比べ0.4%減少し、62億23百万円となりました。これは、主として四半期純利益の計上による増加を、配当の実施や連結子会社の仮決算の実施に伴う利益剰余金の減少が上回ったことによるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

区分	前年同四半期	当第2四半期 連結累計期間	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	382	759	377
投資活動によるキャッシュ・フロー	626	556	70
財務活動によるキャッシュ・フロー	323	230	553
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	4	3
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	77	31	109
現金及び現金同等物の期首残高	328	410	81
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額(は減少)	-	69	69
現金及び現金同等物の四半期末残高	406	309	97

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、資金という)は、前年同四半期と比べて97百万円減少し、3億9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は7億59百万円(前年同四半期は3億82百万円増加)となりました。主な内訳は、減価償却費4億44百万円、棚卸資産の減少1億13百万円、売上債権の減少90百万円などであり、ます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は5億56百万円(前年同四半期は6億26百万円の使用)となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出5億57百万円などであり、ます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は2億30百万円(前年同四半期は3億23百万円の増加)となりました。主な内容は、長期借入金の返済による支出98百万円、短期借入金の減少86百万円、配当金の支払43百万円などであり、ます。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた問題はあり、ません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループが支出した研究開発費の総額は2億66百万円であり、ます。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年11月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	14,440,000	14,440,000	大阪証券取引所 市場第二部	単元株式数は1,000株 であります。
計	14,440,000	14,440,000	-	-

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月30日	-	14,440	-	1,572,000	-	1,008,755

## (6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
住友化学株式会社	東京都中央区新川2丁目27番1号	7,247	50.18
田岡従業員持株会	大阪市淀川区西三国4丁目2番11号	173	1.19
JNC石油化学株式会社	東京都千代田区大手町2丁目2番1号	144	0.99
JNC株式会社	東京都千代田区大手町2丁目2番1号	144	0.99
内藤 健一	大阪府高槻市	121	0.83
高久 英輔	神奈川県川崎市幸区	116	0.80
水川 秀樹	大阪府大阪市淀川区	111	0.76
株式会社日本触媒	大阪市中央区高麗橋4丁目1番1号	108	0.74
脇田 弘仁	千葉県流山市	100	0.69
田中 洋二	愛知県名古屋市中区	96	0.66
計		8,360	57.89

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 83,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 14,238,000	14,238	-
単元未満株式	普通株式 119,000	-	-
発行済株式総数	14,440,000	-	-
総株主の議決権	-	14,238	-

(注) 「単元未満株式」の株式数には当社所有の自己株式166株が含まれております。

## 【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数割合(%)
(自己保有株式) 田岡化学工業株式会社	大阪市淀川区西三国 四丁目2番11号	83,000	-	83,000	0.57
計	-	83,000	-	83,000	0.57

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	410,694	309,499
受取手形及び売掛金	1 4,400,325	1 4,308,192
商品及び製品	2,674,048	2,601,129
仕掛品	89,513	83,451
原材料及び貯蔵品	1,260,417	1,235,093
その他	342,296	376,988
貸倒引当金	169	29
流動資産合計	9,177,126	8,914,325
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,728,987	6,754,284
減価償却累計額	4,575,553	4,655,182
建物及び構築物（純額）	2,153,434	2,099,102
機械装置及び運搬具	17,365,557	17,590,046
減価償却累計額	14,724,520	14,928,673
機械装置及び運搬具（純額）	2,641,037	2,661,373
その他	3,409,265	3,579,953
減価償却累計額	1,493,333	1,515,683
その他（純額）	1,915,932	2,064,270
有形固定資産合計	6,710,404	6,824,745
無形固定資産	28,437	51,959
投資その他の資産		
その他	668,245	678,134
貸倒引当金	8,800	8,800
投資その他の資産合計	659,445	669,334
固定資産合計	7,398,286	7,546,040
資産合計	16,575,413	16,460,365

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 3,684,752	1 3,737,853
短期借入金	2,167,538	2,059,705
1年内返済予定の長期借入金	198,000	798,000
未払法人税等	50,432	69,678
賞与引当金	376,072	371,778
その他	1 1,232,534	1 1,207,719
流動負債合計	7,709,331	8,244,736
固定負債		
長期借入金	1,072,000	373,000
退職給付引当金	1,274,090	1,354,673
役員退職慰労引当金	38,812	-
その他	230,752	264,511
固定負債合計	2,615,655	1,992,184
負債合計	10,324,986	10,236,921
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,572,000	1,572,000
資本剰余金	1,008,755	1,008,755
利益剰余金	3,761,143	3,749,509
自己株式	22,403	22,514
株主資本合計	6,319,494	6,307,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,549	39,016
為替換算調整勘定	122,616	123,323
その他の包括利益累計額合計	69,067	84,306
純資産合計	6,250,426	6,223,443
負債純資産合計	16,575,413	16,460,365

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,028,672	8,309,033
売上原価	7,360,201	6,934,435
売上総利益	1,668,470	1,374,597
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	248,156	239,385
給料手当及び福利費	415,024	446,086
退職給付引当金繰入額	20,348	28,858
役員退職慰労引当金繰入額	9,787	4,143
研究開発費	227,541	266,160
その他	229,647	226,568
販売費及び一般管理費合計	1,150,506	1,211,201
営業利益	517,964	163,396
営業外収益		
受取利息	342	71
受取配当金	1,970	1,969
物品売却益	1,958	2,371
その他	3,149	3,638
営業外収益合計	7,420	8,051
営業外費用		
支払利息	22,997	20,781
為替差損	7,978	3,847
その他	204	412
営業外費用合計	31,180	25,041
経常利益	494,204	146,406
特別損失		
固定資産除却損	5,859	15,172
関連事業損失	1 21,414	1 58,500
特別損失合計	27,274	73,673
税金等調整前四半期純利益	466,930	72,732
法人税、住民税及び事業税	145,199	62,020
過年度法人税等	23,319	-
法人税等調整額	24,584	42,172
法人税等合計	146,464	19,848
少数株主損益調整前四半期純利益	320,465	52,884
四半期純利益	320,465	52,884

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	320,465	52,884
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,931	14,532
為替換算調整勘定	2,121	706
その他の包括利益合計	4,810	15,238
四半期包括利益	315,654	37,645
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	315,654	37,645

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	466,930	72,732
減価償却費	400,832	444,661
退職給付引当金の増減額（は減少）	36,153	80,582
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	26,362	38,812
受取利息及び受取配当金	2,312	2,041
支払利息	22,997	20,781
固定資産除却損	5,859	15,172
売上債権の増減額（は増加）	470,045	90,969
たな卸資産の増減額（は増加）	103,569	113,370
仕入債務の増減額（は減少）	384,714	72,111
その他	41,371	77,331
小計	601,519	792,196
利息及び配当金の受取額	2,312	2,041
利息の支払額	25,740	20,790
法人税等の支払額又は還付額（は支払）	196,077	14,089
営業活動によるキャッシュ・フロー	382,013	759,357
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	624,930	557,646
無形固定資産の取得による支出	3,035	-
投資有価証券の取得による支出	73	74
その他	1,630	1,583
投資活動によるキャッシュ・フロー	626,409	556,137
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	563,329	86,800
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	694,343	98,157
自己株式の増減額（は増加）	398	110
配当金の支払額	43,079	43,072
その他	2,433	2,364
財務活動によるキャッシュ・フロー	323,073	230,504
現金及び現金同等物に係る換算差額	938	4,131
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	77,738	31,416
現金及び現金同等物の期首残高	328,948	410,694
連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増減額（は減少）	-	69,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 406,687	1 309,499

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
「連結子会社の事業年度等に関する事項の変更」 当社連結子会社である田岡(天津)有機化学有限公司の決算日は12月31日ではありますが、連結財務情報のより適正な開示を図るため、連結決算日において仮決算を実施した上で連結することに変更しております。 この変更により、当第2四半期連結累計期間は平成24年4月1日から平成24年9月30日までの6ヶ月間を連結しております。なお、平成24年1月1日から平成24年3月31日までの3ヶ月間の損益については利益剰余金に計上するとともに、キャッシュ・フローについては現金及び現金同等物の期首残高の調整項目として計上しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1. 原価差異の繰延処理 操業度等の季節的な変動に起因した原価差異が発生し、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれる場合には、当該原価差異を繰延べております。 2. 税金費用の計算 一部の連結子会社については、当第2四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
(役員退職慰労引当金制度の廃止) 当社および国内子会社は、平成24年6月28日開催の株主総会終結の時をもって、役員退職慰労金制度を廃止いたしました。これに伴い本制度廃止までの在任期間に応じた役員退職慰労引当金を全額取り崩し、長期未払金(固定負債その他)に計上しております。なお、支払は役員の退任時としております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 満期手形および期日現金決済(手形と同条件で手形期日に現金決済する方式)の会計処理は、手形交換日または期日現金決済日に行っております。なお、当第2四半期連結会計期間の末日が金融機関の休業日であったため、次の同日現在の満期手形等が当第2四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形及び売掛金	679,215千円	666,508千円
支払手形及び買掛金	464,828千円	371,601千円
その他(流動負債)	88,726千円	45,762千円

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
1 関連事業損失は、子会社の事業構造転換費用であります。	1 同左

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
現金及び預金勘定	406,687千円	現金及び預金勘定	309,499千円
現金及び現金同等物	406,687千円	現金及び現金同等物	309,499千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	43,079	3.00	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年10月31日 取締役会	普通株式	43,073	3.00	平成23年9月30日	平成23年11月24日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	43,072	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	43,070	3.00	平成24年9月30日	平成24年11月22日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,838,882	189,789	9,028,672	-	9,028,672
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	450,129	450,129	450,129	-
計	8,838,882	639,919	9,478,801	450,129	9,028,672
セグメント利益	458,035	61,287	519,322	1,358	517,964

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業および構内物流業務受託事業等であります。

2 セグメント利益の調整額 1,358千円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学工業				
売上高					
外部顧客への売上高	8,143,466	165,566	8,309,033	-	8,309,033
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	392,667	392,667	392,667	-
計	8,143,466	558,234	8,701,700	392,667	8,309,033
セグメント利益	130,520	35,867	166,388	2,992	163,396

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、化学分析受託事業および構内物流業務受託事業等であります。

2 セグメント利益の調整額 2,992千円は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	22円32銭	3円68銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	320,465	52,884
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	320,465	52,884
普通株式の期中平均株式数(千株)	14,358	14,357

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

第113期(平成24年4月1日から平成25年3月31日まで)中間配当について、平成24年10月30日開催の取締役会において、平成24年9月30日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	43,070千円
1株当たりの金額	3円
支払請求権の効力発生日および支払開始日	平成24年11月22日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

田岡化学工業株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 中 尾 正 孝 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小 野 友 之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている田岡化学工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、田岡化学工業株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。